

武蔵野書院

訓点語学会会員様向け特設サイト
2021年10月11日～11月21日

このサイトからのご注文に限り書籍を、
学会割引（税込み定価の2割引）＋送料無料
にてご注文いただけます

ご注文方法

1. **A** 書籍名をクリックする、**B** 書籍QRコードを読み取る、
C 最後のページの注文書で、FAXやメール等で注文する。
A～C のいずれかの方法でご注文ください。
2. **A・B** でご注文の際は訓点語学会会員である旨を明記ください。

お支払方法

1. ご注文いただいた書籍をお送りする際に同梱する、郵便振込用紙にてお支払いください（振込手数料小社負担）。
銀行振込でも承りますが、その際は振込手数料をご負担いただきます。
2. 公費注文の場合、宛名・日付の有無・納品 / 見積 / 請求書の枚数をお知らせください。

*****ご注文・お問い合わせ先*****

武蔵野書院

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 3-11

TEL 03-3291-4859 FAX 03-3291-4839

e-mail : info@musashinosho.in.co.jp



最新刊

日本語学会論文賞叢書 1
服部紀子 著 「格」の日本語学史的研究
—江戸期蘭文典と国学からの影響—

日本語学会論文賞叢書 第1弾!

江戸時代におけるオランダ語学史については、先人によって新たな視点での研究が始められている。しかしそのような中で、オランダ語学を通して見出された日本語観、言い換えると、オランダ語との対照言語学的視点によって得られた日本語の見方については考察すべき余地があるように思われる。

特に、それまで日本では意識されることのなかった格は、オランダ語を通して意識されるようになった。江戸時代の蘭学者がオランダ語における格 (naamvallen) という概念をどのように理解し、またそれが日本語観にどう影響したのか。

近代文法学説に見られる格研究の前史として位置づけることが本研究の目的である。

定価：本体8,000円＋税 判型：A5判上製カバー装 192頁
刊行日：2021年9月17日 ISBN：978-4-8386-0759-4



今野真二 著 テキストの変容—動態としてのテキスト

明治から昭和にかけて成立したテキストを共時的に観察する

言語化されていない「情報」が言語化というプロセスを経て、言語となってかたちをあらわす。言語単位でいえば、語をかたちづくり、語によって文をかたちづくり、文がまとまって文章、テキストとなる。

本書では、そのテキストが「書き手」やその他の事柄によってかたちを変えていくということについて、夏目漱石、岸田國士、島崎藤村、齋藤茂吉、森鷗外、江戸川乱歩にかかわるテキストを採りあげて、言語面から分析、考察を試みる。

定価：本体11,500円＋税 判型：A5判上製カバー装 516頁
刊行日：2021年5月7日 ISBN：978-4-8386-0748-8



最新刊

上野和昭 著 名目鈔声点本の研究

日本語アクセント史資料としての名目鈔伝本と、そこに差された声点についての研究

本書は、声点の差された名目鈔伝本について検討し、そこに差された声点がどのような音調をあらわしているかということの研究したものである。もとよりその目的は日本語アクセント史研究に資するところであり、さらには中世以降、四声観が変容するなかにも名目鈔の声点を位置づけることを目指すものである。

定価：本体12,000円＋税 判型：A5判上製カバー装 432頁
刊行日：2021年10月8日 ISBN：978-4-8386-0760-0



園田博文 著 **台湾の日本語教科書と中国語会話書の研究**
—昭和20年まで—

最新の資料に基づき、第1部 台湾における日本語教科書と日本語資料、第2部 日清韓会話書・台湾語会話書の成立と中国語方言会話書への展開、第3部 中国語会話書（北京官話会話書）の成立と展開という三部構成で、昭和20年までの台湾の日本語教科書と中国語会話書について考察する



定価：本体10,000円＋税 判型：A5判上製函入 402頁
刊行日：2021年2月12日 ISBN：978-4-8386-0742-6



斎藤達哉 著 **国語仮名表記史の研究**

膨大な古典仮名資料の分析から日本語学の文字・表記史に挑む

本書『国語仮名表記史の研究』は、仮名主体で表記された古典日本語の文章である「仮名資料」を調査対象として、日本語学の文字・表記史の分野に立脚した、「仮名資料の文字調査」、「語と用字との関係」、「字体認識と書写態度」の観点から四部構成で論じたものである。



定価：本体12,000円＋税 判型：A5判上製カバー装 420頁
刊行日：2021年2月16日 ISBN：978-4-8386-0741-9



米田達郎 著 **驚流狂言詞章保教本を起点とした
狂言詞章の日本語学的研究**

狂言詞章を日本語史の中でどう位置づけるか

保教本は現在のところ、驚流においてまとまった分量のある最古の狂言詞章である。本書では保教本を中心に、それがどのような言語的な特徴をもった狂言詞章なのか、また18世紀以降の狂言詞章の言語がどのような様相を呈しているのかということを中心に多角的な考察を加える。これらは単に狂言詞章研究のみならず、18世紀以降の狂言詞章の言語を日本語史の中でどのように位置づけるかということにつながり、日本語史研究の幅を広げる意味でも重要なことと思われる。



定価：本体8,500円＋税 判型：A5判上製カバー装 308頁
刊行日：2020年9月24日 ISBN：978-4-8386-0733-4



『英和对訳袖珍辞書』の研究

肖江楽著

武蔵野書院



肖江楽 著 『英和对訳袖珍辞書』の研究

『英和对訳袖珍辞書』(A Pocket Dictionary of the English and Japanese Language)は、1862年に、堀達之助(1823~1894)と、協力者である西周助・千村五郎・竹原勇四郎・箕作貞一郎(麟祥)らによって、幕府洋書調所から刊行された近代日本初の本格的な英和辞書である。明治新政府が建立される前の黎明期に再び改訂増補され、近代日本新国家形成期に第3版と第4版が活字で印刷・出版された。それ以降も改版を重ね、当時の英学者に重宝され、明治20年までほかの辞書に影響を与えていった。今日に至っても、この辞書は多くの研究者に注目されている。本書ではこれらの各版に対して、それぞれ精査を行い、辞書の見出し語の増減を網羅的にデータ化し、収集し得たこのオリジナルデータに基づいて、特に2007年に奇跡的に発見された原稿資料の解読を付け加えながら、辞書の成立や改訂、増補などを実証的に考察した。

定価：本体10,000円＋税 判型：A5判上製函入 290頁
刊行日：2021年1月20日 ISBN：978-4-8386-0740-2



山口豊編

宮澤賢治著
『春と修羅』総索引

武蔵野書院



山口豊 編 宮澤賢治著 『春と修羅』総索引

本索引は、宮澤賢治詩集『春と修羅』の総索引である。

宮澤賢治はその短い生涯において生前二冊の本を出版した。そのうちの一冊が『春と修羅』という心象スケッチである。本稿はその『春と修羅』の一語一語を取り出し、どのような語が、どの詩において、どのぐらい用いられているのかが一目でわかるようにするための索引である。底本には大正13年4月に関根書店から発行されたものを財団法人 日本近代文学館が『精選 名著復刻全集』として発行したものを使用した。

【目次】

凡例

宮澤賢治著『春と修羅』総索引 あ～ん
アルファベット / 対照表

定価：本体6,800円＋税 判型：B5判上製函入 172頁
刊行日：2020年8月20日 ISBN：978-4-8386-0732-7



山口豊編

海外新聞総索引

武蔵野書院



山口豊 編 海外新聞総索引

本索引は、新聞の父と呼ばれるジョセフ彦が元治二年に横浜で岸田吟香、本間清雄らとともに発行した『海外新聞』(全26号)の総索引である。

当時どのような語が新聞に使われ、民衆に受け入れられていたのかを知ることのできる基礎研究資料である。また当時の表記を見出し語としているので、外来語が当時の人々にどのように聞こえていたのかを知る資料ともなる。

底本として早稲田大学図書館資料叢刊2『ジョセフ彦 海外新聞』(早稲田大学出版部刊)を使用した。また、底本には本文の影印が9頁から253頁まであり、257頁からは翻刻が掲載されているので、影印との対照表を巻末に付した。

定価：本体7,200円＋税 判型：B5判上製函入 200頁
刊行日：2017年8月15日 ISBN：978-4-8386-0703-7



園田博文 著 日清戦争以前の日本語・中国語会話集

本書は、日清戦争以前の日本語・中国語会話集についての研究書です。日本語・中国語会話集語とは、日本語とそのもとになった中国語とを対照させた会話集のことです。本文では、中国語会話書と呼びます。訳述された日本語を見ると、興味深い語や語法に気づきます。日常使われる口語で訳したとの訳述方針が示されていたり、中国語母語話者が日本語学習のために使ったという述懐がなされたりもしてします。

まずは、第1部で資料について詳細に分析します。その上で、第2部では、人称代名詞について見ていきます。第3部では、戦前まで規範的ではないとされた「新シイデス」「丸イデス」のような用例が見られる点に触れます。時代を先取りしたともいえる例です。第4部では九州方言的要素の検討を行います。



定価：本体1,200円＋税 判型：A5判並製力バー装 148頁
刊行日：2020年10月5日 ISBN：978-4-8386-0735-8



近代語学会 編 近代語研究 第二十二集

坂詰力治、山田 潔、小林千草、田和 真紀子、田島 優
肥爪周二、小柳智一、小松寿雄、坂梨隆三、長崎靖子
浅川哲也、荒尾禎秀、内田宗一、今野真二、松井利彦
北崎勇帆、佐藤貴裕、平井吾門、新野直哉、伊藤博美
園田博文、近藤 明日子、木村 一、櫻井豪人

の総勢24人の研究者による論文集



定価：本体14,000円＋税 判型：A5判上製函入 540頁
刊行日：2021年3月30日 ISBN：978-4-8386-0743-3



近代語学会 編 近代語研究 第二十一集

坂詰力治、山田潔、佐藤貴裕、坂梨隆三、小松寿雄
内田宗一、肥爪周二、松井利彦、平井吾門、小林千草
長崎靖子、大久保 恵子、丸田博之、米田達郎、荒尾禎秀
今野真二、村上 謙、園田博文、新野直哉、近藤 明日子
伊藤博美、川瀬 卓、北澤 尚、田島 優、常盤智子
櫻井豪人、浅川哲也

の総勢22人の研究者による論文集



定価：本体15,000円＋税 判型：A5判上製函入 576頁
刊行日：2019年9月30日 ISBN：978-4-8386-0723-5



武蔵野書院創業百周年記念出版

多和田 眞一郎 著 沖繩語動詞形態変化の歴史的研究

静岡大学人文学部に提出する卒業論文のテーマに自身の第一言語の「動詞の活用」を選んで以来約半世紀、私の関心の中心は沖縄語の形態、就中、動詞形態変化の変遷（史的变化）にある。

それを跡付けるべく、地道に資料収集・分析を行ってきた。やっとある程度のまとめができ、相応の知見も得ることができたので、目に見える形にしてみることにする。

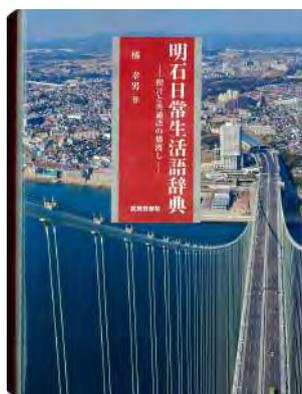
本書で行ったことは、例えて言えば、原初的なドローンを飛ばして川の流れるさまを写真に収めたようなものであろうか。

川がどこで曲がるか、どこから直線的になるか、幅がどのように変わるか等は写せるが、流れる速さはどうか、深さはどうか、川底の様子はどうか、そこに生息する動・植物にはどのようなものがあるか等はカバーできていない。

将来的には、動画を撮る、水中カメラで撮る等に例えることのできる「手法」を生かして更なる分析ができるようになることを望んでいる。

定価：本体25,000円＋税 判型：B5判上製カバー装 1380頁

刊行日：2019年8月28日 ISBN：978-4-8386-0721-1



橘 幸男 著 明石日常生活語辞典—俚言と共通語の橋渡し—

本書『明石日常生活語辞典』で記録するのは、祖父母の世代、父母の世代、自分たちの世代という三世代が使っていた言葉、あるいは使っている言葉である。それを子や孫の世代に伝えたいという強い思いから、本書を編んだ。

本書は、明石の日常生活で使われている言葉、および最近まで使われていた言葉についての記録であるが、兵庫県内はもちろん、関西一円の方言とも共通点を持つ内容となっている。

定価：本体20,000円＋税 判型：B5判上製カバー装 834頁

刊行日：2019年9月1日 ISBN：978-4-8386-0722-8



B. J. ベッテルハイム 著/伊波和正/高橋俊三/兼本 敏 編訳

日本語訳 英琉辞書

英琉辞書は、ベッテルハイムの自筆稿本 大英図書館蔵 English-Loochooan Dictionary (英琉辞書) とその付録の Chinese Derivatives (漢語) を翻訳したものである。資料としての活用を第一に考慮し、辞書本体 (A~Z・漢語) を冒頭に編み、索引と解題を後半に綴じた。

定価：本体18,000円＋税 判型：B5判上製カバー装 624頁

刊行日：2017年05月14日 ISBN：978-4-8386-0702-0



武蔵野書院創業百周年記念出版

三保忠夫 著 **尺牘資料における助数詞の研究** 明国から日本へ

本書は、「尺牘資料」、及び、「日用類書」、また、日本の『尺牘式』・『尺牘式補遺』などをもって「助数詞」につき、その語彙面から考察するものである。

「尺牘資料」には、本邦作成の『尺牘諺解』（延宝八年〈一六八〇〉刊）、その他を含む。



定価：本体13,500円＋税 判型：A5判上製函入 392頁

刊行日：2019年3月25日 ISBN：978-4-8386-0718-1



湯浅彩央 著 **近代日本語の当為表現**

本書は、対象とする時代を近世以降に絞り、否定助辞の条件表現、禁止表現との比較・対照を行い、先行研究では解明されなかった点に迫ろうとするものである。



定価：本体8,800円＋税 判型：A5判上製カバー装 230頁

刊行日：2019年3月5日 ISBN：978-4-8386-0716-7



佐藤貴裕 著 **近世節用集史の研究**

本書は近世節用集の展開を跡づけ、その辞書的意義を検討するための基礎的研究である。節用集はその誕生期である戦国・安土桃山時代にも相当数の写本が行われていた。近世においてはことに多様な異本が生み出され、広範な利用者を獲得していった。その節用集、ことに多彩な異本が生み出された近世節用集の展開を描いてみたい。その営みは国語学的研究の側から見れば、資料研究の一つとなるであろう。辞書的研究からも近世における一大勢力の史的記述として一定の位置を与えられるものと思われる。



定価：本体12,000円＋税 判型：A5判上製函入 440頁

刊行日：2019年2月25日 ISBN：978-4-8386-0717-4



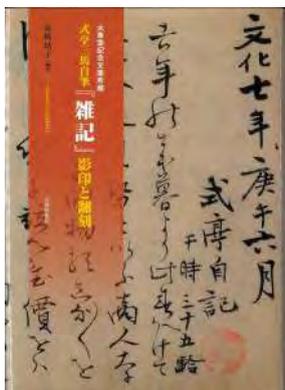
土屋信一 編著 式亭三馬「稽古三弦」影印・翻刻・研究

江戸語研究に役立つ新資料

文政五年（一八二二）没した式亭三馬の遺稿として同九年（一八二六）刊行された「稽古三弦（けいこさみせん）」。
その全文影印（原寸）と翻刻に資料解説を含めた研究を付す。
カラー口絵付。



定価：本体6,000円＋税 判型：A5判並製カバー装 200頁
刊行日：2018年10月10日 ISBN：978-4-8386-0479-1



長崎靖子 編著 大東急記念文庫所蔵 式亭三馬自筆『雑記』影印と翻刻

『式亭雑記』書誌研究にも新たな光を与えた一書。

大東急記念文庫所蔵三馬自筆『雑記』（以下自筆本）を高解像度で撮影した影印を全編掲載。翻刻を影印と併載するかたちで提示したので、三馬の自筆を味わいながら読み進むことができる。三馬自筆の仮名字体の資料として字母翻刻も掲載。さらに、慶應義塾図書館所蔵達摩屋五一識語の『式亭雑記』（以降慶大本）の翻刻も合わせて掲載。自筆本の朱の書き込みは、慶大本を書写した人物と同筆である。両書の関係は、またその他の『式亭雑記』諸写本との関係は如何。



定価：本体11,000円＋税 判型：A5判上製カバー装 400頁
刊行日：2016年10月25日 ISBN：978-4-8386-0298-8



今野真二/小野春菜 著 言海の研究

『言海』研究の決定版！

先行研究史、原稿や校正刷からみた成り立ち、辞書体例からみた構造、明治期の日本語における資料性、日本語学の分析素材としての考察——『言海』の全貌をできる限り明らかにする。



定価：本体10,000円＋税 判型：A5判上製カバー装 448頁
刊行日：2018年10月10日 ISBN：978-4-8386-0713-6



安田尚道 著 日本語数詞の歴史的研究

先行文献の丹念な渉猟から、数少ない用例をコツコツと蒐集し、日本語がたどってきた数詞の歴史にさまざまな角度から検討を加えた著者畢生の仕事を一冊に凝縮。また、巻末の資料「日本語数詞研究文献目録／参考文献一覧／用例一覧」は、今後の数詞研究に無くてはならない研究基礎資料である。



定価：本体13,500円＋税 判型：A5判上製函入 576頁
刊行日：2015年5月20日 ISBN：978-4-8386-0285-8



常盤智子 著 英学会話書の研究

本書はこれらの現状を承け、英学資料の下位区分の一つである英学会話書の研究を行い、当時の日本語の一端を明らかにすることを目的とする。

第1部では、明治20年までにおける英学会話書を概観し、第2部では外国人の著作である英学会話書を中心とした個別の研究を示す。



定価：本体11,500円＋税 判型：A5判上製函入 330頁
刊行日：2015年6月20日 ISBN：978-4-8386-0286-5



武井和人 著 十市遠忠和歌典籍の研究

室町時代の武将・歌人、十市遠忠の和歌典籍の研究書。

南都における典籍流通、詠草、歌合・自歌合、古典籍書写者および歌詠みとしての遠忠、遠忠文献などについて論じる。

研究篇 592 頁、資料篇上・754 頁、資料篇下・714 頁の大ボリューム三分冊で構成される、約40年の永きに亘る著者畢生の研究成果をここに刊行する。



定価：本体34,545円＋税
判型：A5判上製函入三分冊（分売不可）
研究篇：592頁 資料篇上：754頁 資料篇下：714頁
刊行日：2020年2月29日 ISBN：978-4-8386-0727-3



高橋忠彦/高橋久子
古辞書研究会 編著 **いろは分類体辞書の総合的研究**

国立国会図書館蔵『色葉字尽』・東京大学文学部国語研究室蔵『伊呂波集』および、新出資料の高橋家蔵『色葉字』の三本を高解像度撮影、初めて影印に付し、翻字・総合索引と研究論文13本を添えて、江湖に総合的研究成果を広く示すものである。



定価：本体23,000円＋税 判型：A5判上製函入 1256頁
刊行日：2016年10月16日 ISBN：978-4-8386-0299-5



柳田征司 著 **日本語の歴史 補巻 禁止表現と係り結び**
定価：本体2,000円＋税 判型：四六判並製カバー装 208頁
刊行日：2017年5月13日 ISBN：978-4-8386-0474-6

各巻共に 定価：本体2,000円＋税 判型：四六判並製カバー装

- 日本語の歴史 1 方言の東西対立 ISBN：978-4-8386-0422-7
- 日本語の歴史 2 意思・無意志 ISBN：978-4-8386-0429-6
- 日本語の歴史 3 中世口語資料を読む ISBN：978-4-8386-0434-0
- 日本語の歴史 4 抄物、広大な沃野 ISBN：978-4-8386-0445-6
- 日本語の歴史 5 上 音便の千年紀 ISBN：978-4-8386-0452-4
- 日本語の歴史 5 下 音便の千年紀 ISBN：978-4-8386-0457-9
- 日本語の歴史 6 主格助詞「ガ」の千年紀 ISBN：978-4-8386-0464-7



田中章夫 著 **東京ことば—その過去・現在・未来**

人口の東京一極集中の進展により、南関東一円に「首都圏言葉」とも云うべき、共通の言葉が生まれつつある。

これは、今までの東京語系の、いわゆる「標準語」とはひと味違った、これからの「標準日本語」につながっていくものではないかとも考えられる。

そうした意味で、江戸言葉から東京言葉へ、そして、首都圏に広がる新しい言葉へ、といった変容の足取りをたどる。



定価：本体1,800円＋税 判型：四六判並製カバー装 200頁
刊行日：2017年5月10日 ISBN：978-4-8386-0472-2



最新刊 桐山智子 著 タカラヅカ 百年の芸名

小学生の時に会った「タカラヅカ」。観劇の帰りに母に買ってもらったプログラムにあった出演者の一覧を見て目を奪われた。

古く大正時代から「タカラヅカ」の舞台上で活躍してきた数多の「タカラジェンヌ」、そしてその華やかな「芸名」。

「人名」に興味をもち続けてきた著者が、1期生から100期生までの全4426人の芸名のデータベースを作成し、時代ごとにその芸名の傾向を掴む。

大正期の百人一首に由来する芸名では、掛詞や縁語、文字遊びといった言語遊戯的な要素があり、昭和期以降の芸名では、一般の命名ではない姓をつくり、名と組み合わせる考案するところに、音と文字の使い方の妙味が表れる命名法があった。

分析から導き出された各時期の芸名の特徴に、「男役の名」や「キラキラネーム」などのトピックを立てつつタカラヅカの芸名を考察する。

定価：本体3,500円＋税 判型：A5判並製カバー装 332頁

刊行日：2021年10月13日 ISBN：978-4-8386-0497-5

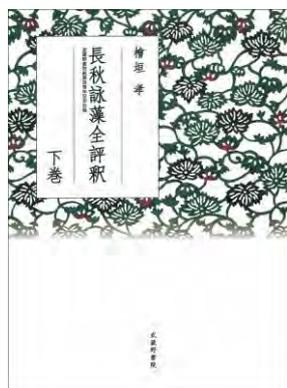


最新刊 武蔵野書院創業百周年記念出版 榎垣 孝 著 長秋詠藻全評釈 上巻 (全三巻)

本『長秋詠藻全評釈』上中下三巻は、いわゆる第二類本『長秋詠藻』のうち俊成自撰部分四八〇首の全評釈を試みたものであり、本上巻は、いわゆる「久安百首」と「述懐百首」の評釈である。「久安百首」については、先の上梓した『俊成久安百首評釈』を利用し、内容には適宜修正加筆を心がけ、注記を本文に繰り入れるよう変更した。なお、「久安百首」は俊成詠の百首歌、『久安百首』は崇徳院主催の百首歌という意味で、括弧の表記を書き分けて示した。「述懐百首」については、その歌題を百首百題形式の『堀河百首』に倣うが、まま歌題が異なっている場合もある。歌題が『堀河百首』と異なる場合はその旨を記し、『長秋詠藻』の他の諸本も参照する。『堀河百首』以前の『古今和歌六帖』『和漢朗詠集』『新撰朗詠集』に該当歌題があるかを調査し、題詠歌としての歌題という観点から、特に「述懐百首」成立以前の歌合作品の歌題についても検討することに務めた。

定価：本体14,500円＋税 判型：A5判上製貼函入仕様 544頁

刊行日：2021年8月19日 ISBN：978-4-8386-0758-7



武蔵野書院創業百周年記念出版 榎垣 孝 著 長秋詠藻全評釈 下巻 (全三巻)

『長秋詠藻』は、平安時代末期の歌人藤原俊成の私家集（個人歌集）。全三巻からなる。俊成の自選により1178年（治承2年）、守覚法親王に謙譲された。俊成が皇太后宮大夫であったので、皇太后宮を長秋宮というのになんで命名された。本書は、いわゆる第二類本『長秋詠藻』のうち、俊成自撰部分四八〇首の全評釈を試みたものである。自撰部分の後に加えられている「右大臣家百首」一〇〇首は、仮名に適宜漢字を当てるなど読みやすいよう整えた本文のみを掲出するにとどめた。また、本書底本の最後にある奥書も本文のみを掲出するにとどめた。『長秋詠藻』の本文は、『私家集大成』第三巻・中世Ⅰ（明治書院、昭和四九・七）に、『俊成Ⅰ』として収められたものを底本とした。該本は俊成自撰の原型本四八〇首に「右大臣家百首」一〇〇首を加えた五八〇首よりなる第二類本にあたり、藤原定家筆本の臨写本である宮内庁書陵部蔵『長秋詠藻』（五〇一・一七二）を忠実に翻刻したものである。

定価：本体12,500円＋税 判型：A5判上製貼函入仕様 464頁

刊行日：2018年3月31日 ISBN：978-4-8386-0710-5



最新刊

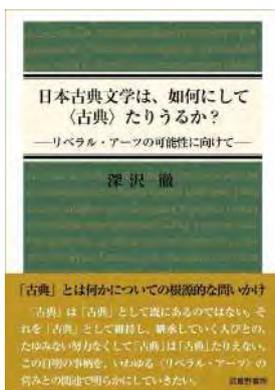
芝波田 好弘 著 **方丈記試論**

『方丈記』研究史上に新局面を拓く試論を提起する

『方丈記』は作者名の問題も含め、いまだに解釈・理解の相違を多々抱える難物である。本書はその難物の魅力に取り憑かれた著者が、作者試論・諸本と本文の分析・序章と五大災害の記述についての試論など、さまざまな角度から『方丈記』を分析し、検証に次ぐ検証を重ねた雄編である。



定価：本体14,500円＋税 判型：A5判上製カバー装 652頁
刊行日：2021年8月4日 ISBN：978-4-8386-0757-0



深沢 徹 著

日本古典文学は、如何にして〈古典〉たりうるか？

—リベラル・アーツの可能性に向けて—

「古典」とは何かについての根源的な問いかけ

「古典」は「古典」として既にあるのではない。それを「古典」として維持し、継承していく人びとの、たゆみない努力なくして「古典」は「古典」たりえない。この自明の事柄を、いわゆる「リベラル・アーツ」の営みとの関連で明らかにしていきたい。



定価：本体3,000円＋税 判型：四六判並製カバー装 276頁
刊行日：2021年4月23日 ISBN：978-4-8386-0493-7



高田信敬 著

文献学の栞

本書では、源氏物語から江戸明治の文献を取り扱う。先学の記述にならって文献学中の二つの柱、文献の具体的吟味と文献の実際的使用を、第一部「典籍叢説」と第二部「訓詁注釈の試み」に振り分け、それぞれに有縁の考証を配した。作品の言葉を相手とし言葉によって研究を形にする以上、国文学の研究者もまた、言葉の徒でなくてはならない。文献学の高い目標、少なくともそのひとつは、文献の適切な理解・歪みのない解釈にあるのではないか。



定価：本体12,000円＋税 判型：A5判上製カバー装 442頁
刊行日：2020年12月15日 ISBN：978-4-8386-0738-9



林田先生 畢生のお仕事を全四巻の著作集に集約！
圧巻の計1388頁

林田孝和著作集

各巻定価：本体5,700円＋税 判型：A5判上製函入
刊行日：2021年5月15日

著者：林田孝和

編者：竹内正彦・津島昭宏・太田敦子
春日美穂・畠山大二郎



第一巻 源氏物語の発想

360頁 ISBN：978-4-8386-0750-1



第二巻 源氏物語の精神史研究

312頁 ISBN：978-4-8386-0751-8



第三巻 源氏物語の創意

360頁 ISBN：978-4-8386-0752-5



第四巻 王朝文学の精神史研究

356頁 ISBN：978-4-8386-0753-2



久保朝孝 編

発起人：神田龍身/福家俊幸/外山敦子

危機下の中古文学2020

総勢42名の中古文学研究者はこの危機下で何をなそうとしたのか？

2020年は、気候変動による甚大な自然災害の多発、新型悪性感染症の世界的蔓延、新自由主義経済が招来する貧富差の拡大、国家・民族・人種間の分断、民主主義の脆弱さの露呈、そして核兵器を中心とする軍事力拡大競争など、人類の生存に関わる自然と人為的な脅威が多発した年、危機下の一年として、いずれ回想されることになろう。そのような一年を、文学に関わる者として我々はどう過ごしたのか。将来そう問われたときに、何と答えるべきか。中古文学研究という場において、我々は何をなし得たのか、あるいは何をなそうとしたのか。本書は、この問いに対する回答を研究論文集として一書にまとめ、広く江湖に提示するものである。



定価：本体11,000円＋税 判型：A5判上製カバー装 648頁
刊行日：2021年3月5日 ISBN：978-4-8386-0744-0



久保朝孝 著 **源氏物語を開く**
専門を異にする国文学研究者による論考54編

『源氏物語』研究を開放したい、それが本書のねらいである。

日本の古典文学を代表するこの作品は、千年という途方もない時間の試練に堪え得たものだけに許される、きわめて分厚い研究の歴史を含有する。それは現在も止まることなく、陸続と新しい研究成果が公表され続けている。それゆえに、その研究史を、そして研究の現在を把握しなければ、『源氏物語』について論じることが困難になってしまっているのではないか。

本書は、『源氏物語』研究を従来の『源氏物語』専門または中古文学研究者以外の国文学研究者に広く開放し（あるいは参画を促し）、新たな視点・方法・問題意識等を自由に導入することによって、『源氏物語』研究および作品世界を一層拡大・深化させる機縁とするものである。



定価：本体14,000円＋税 判型：A5判上製カバー装 720頁
刊行日：2021年3月31日 ISBN：978-4-8386-0746-4



最新刊

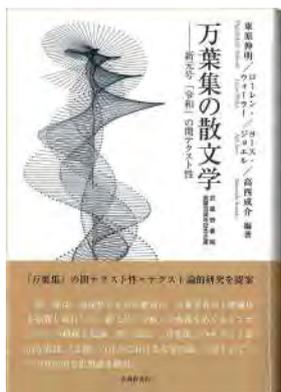
山下太郎 著 **王朝日記物語の展開**
—歌物語と日記物語—

新しい古典としての歌物語と日記物語

第一部には、歌物語に関連する四編の論を、また第二部には、日記物語を取り上げた十一編の論を収載した。検証作業に一貫するものは、読書の渉獵による諸説の丹念な吟味、定説への挑戦と妥協の排除である。『和泉式部日記』を中心に据え、著者21年間に亘る研究成果を一冊に凝縮した。



定価：本体11,000円＋税 判型：A5判上製カバー装 352頁
刊行日：2021年7月26日 ISBN：978-4-8386-0756-3



最新刊

武蔵野書院創業百周年記念企画
東原伸明/ローレン・ウオーラー/ヨース・ジヨエル/高西成介 編著
万葉集の散文学—新元号「令和」の間テキスト性

『万葉集』の間テキスト性＝テキスト論的研究を提案

第一部は、高知県立大学の教員に、万葉学者の上野誠氏を招聘し敢行した新元号「令和」の典拠をめぐるシンポジウムの模様を収録。第二部は、『万葉集』のテキスト論的な実践、『文選』の日本における受容の論、元号をめぐるの政治的な思想論を展開。



定価：本体3,000円＋税 判型：四六判上製カバー装 354頁
刊行日：2021年6月25日 ISBN：978-4-8386-0494-4



最新刊 飯泉健司 著 **文学に旅する**

内と外、都と鄙、王権と民、中心と周辺、既知世界と未知世界。それらの中間に作者と作品は位置して、二つの世界を往還する。流転に近い生態があるからこそ、文学は循環しながら展開する。そのようなサイクルの中で、作者のみならず読者も旅を続ける。……本書はそのような旅をする試みである。



定価：本体5,000円＋税 判型：四六判上製カバー装 378頁
刊行日：2021年7月26日 ISBN：978-4-8386-0495-1



最新刊 三上 満 編著 **歌めき 三上満贈答歌集**

歌による会話という、王朝和歌のたしなみ
復権の願いを込めて世に問う贈答歌集

教員生活の掉尾を飾るべく？ とある女子校に産休代用教員として赴任した著者が、生徒との日常のふれあいを通して生みだした詩的結晶ともいえる贈答歌を中心に、人との絆を求めて作り重ねた、半生の詠作をまとめた珠玉の短歌集。



定価：本体800円＋税 判型：A5変形判並製カバー装 134頁
刊行日：2021年9月9日 ISBN：978-4-8386-0496-8



高橋秀城 著 **法の水茎—和歌とおはなしでひもとく仏教—**

高尾なる緑もふかき法の山飯繩の御威永遠に変わらじ

いにしへの和歌や説話、古典文学には仏様の教えがちりばめられている。また、その教えをもとに書かれた作品も少なくない。

本書はこれらの古典作品を手がかりとして、仏教の奥深い教えに近づくことを目的として書かれた、ひとつの道しるべ。

高尾山薬王院発行の『高尾山報』に、普濟寺住職である著者が、八年に亘って連載している『法の水茎』1～100話をこの一冊に収録。悩み多き現代人に贈る、言わば百話の心の処方箋。住職ならではの優しい語り口が、読者を仏の御心へと誘う。



定価：本体3,500円＋税 判型：A5判並製カバー装 452頁
刊行日：2021年3月11日 ISBN：978-4-8386-0492-0

この注文書でご注文いただければ、学会割引（税込定価の2割引+送料無料）を適用させていただきます（2021年11月21日まで）

書籍名	価格	部数	公費・私費
「格」の日本語学史的研究—江戸期蘭文典と国学からの影響—	本体： 8,000円+税	部	公費・私費
テキストの変容—動態としてのテキスト	本体： 11,500円+税	部	公費・私費
名目鈔声点本の研究	本体： 12,000円+税	部	公費・私費
台湾の日本語教科書と中国語会話書の研究—昭和20年まで—	本体： 10,000円+税	部	公費・私費
国語仮名表記史の研究	本体： 12,000円+税	部	公費・私費
鷺流狂言詞章保教本を起点とした狂言詞章の日本語学的研究	本体： 8,500円+税	部	公費・私費
『英和对訳袖珍辞書』の研究	本体： 10,000円+税	部	公費・私費
宮澤賢治著『春と修羅』総索引	本体： 6,800円+税	部	公費・私費
海外新聞総索引	本体： 7,200円+税	部	公費・私費
日清戦争以前の日本語・中国語会話集	本体： 1,200円+税	部	公費・私費
近代語研究 第二十二集	本体： 14,000円+税	部	公費・私費
近代語研究 第二十一集	本体： 15,000円+税	部	公費・私費
沖縄語動詞形態変化の歴史的研究	本体： 25,000円+税	部	公費・私費
明石日常生活語辞典—俚言と共通語の橋渡し—	本体： 20,000円+税	部	公費・私費
日本語訳 英琉辞書	本体： 18,000円+税	部	公費・私費
尺牘資料における助数詞の研究 明国から日本へ	本体： 13,500円+税	部	公費・私費
近代日本語の当為表現	本体： 8,800円+税	部	公費・私費
近世節用集史の研究	本体： 12,000円+税	部	公費・私費
式亭三馬「稽古三弦」影印・翻刻・研究	本体： 6,000円+税	部	公費・私費
大東急記念文庫所蔵 式亭三馬自筆『雑記』影印と翻刻	本体： 11,000円+税	部	公費・私費
言海の研究	本体： 10,000円+税	部	公費・私費
日本語数詞の歴史的研究	本体： 13,500円+税	部	公費・私費
英学会話書の研究	本体： 11,500円+税	部	公費・私費
十市遠忠和歌典籍の研究	本体： 34,545円+税	部	公費・私費
いろは分類体辞書の総合的研究	本体： 23,000円+税	部	公費・私費
日本語の歴史 1 方言の東西対立	本体： 2,000円+税	部	公費・私費
日本語の歴史 2 意思・無意志	本体： 2,000円+税	部	公費・私費
日本語の歴史 3 中世口語資料を読む	本体： 2,000円+税	部	公費・私費
日本語の歴史 4 抄物、広大な沃野	本体： 2,000円+税	部	公費・私費
日本語の歴史 5 上 音便の千年紀	本体： 2,000円+税	部	公費・私費
日本語の歴史 5 下 音便の千年紀	本体： 2,000円+税	部	公費・私費
日本語の歴史 6 主格助詞「ガ」の千年紀	本体： 2,000円+税	部	公費・私費
日本語の歴史 補巻 禁止表現と係り結び	本体： 2,000円+税	部	公費・私費
東京ことば—その過去・現在・未来	本体： 1,800円+税	部	公費・私費
タカラヅカ 百年の芸名	本体： 3,500円+税	部	公費・私費
長秋詠藻全評釈 上巻	本体： 14,500円+税	部	公費・私費
長秋詠藻全評釈 下巻	本体： 12,500円+税	部	公費・私費
方丈記試論	本体： 14,500円+税	部	公費・私費
日本古典文学は、如何にして〈古典〉たりうるか？—リベラル・アーツの可能性に向けて—	本体： 3,000円+税	部	公費・私費
文学学の菜	本体： 12,000円+税	部	公費・私費
林田孝和著作集 第一巻 源氏物語の発想	本体： 5,700円+税	部	公費・私費
林田孝和著作集 第二巻 源氏物語の精神史研究	本体： 5,700円+税	部	公費・私費
林田孝和著作集 第三巻 源氏物語の創意	本体： 5,700円+税	部	公費・私費
林田孝和著作集 第四巻 王朝文学の精神史研究	本体： 5,700円+税	部	公費・私費
危機下の中古文学2020	本体： 11,000円+税	部	公費・私費
源氏物語を開く 専門を異にする国文学研究者による論考54編	本体： 14,000円+税	部	公費・私費
王朝日記物語の展開—歌物語と日記物語—	本体： 11,000円+税	部	公費・私費
万葉集の散文学—新元号「令和」の間テキスト性	本体： 3,000円+税	部	公費・私費
文学に旅する	本体： 5,000円+税	部	公費・私費
歌めき 三上満贈答歌集	本体： 800円+税	部	公費・私費
法の水茎—和歌とおはなしでひもとく仏教—	本体： 3,500円+税	部	公費・私費
上記以外の書籍〔 〕	本体： 円+税	部	公費・私費
上記以外の書籍〔 〕	本体： 円+税	部	公費・私費
上記以外の書籍〔 〕	本体： 円+税	部	公費・私費
上記以外の書籍〔 〕	本体： 円+税	部	公費・私費
上記以外の書籍〔 〕	本体： 円+税	部	公費・私費
上記以外の書籍〔 〕	本体： 円+税	部	公費・私費
ご注文者			
お名前		お宛名	
お電話番号			
公費伝票類			
ご送付先		日付有無	納品書
〒		あり・なし	通
		見積書	請求書
		通	通